

神である主は、土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで、人は、生きものとなった。」（創世記2：7）

神である主は人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。（創世記2：15）

神である主は人に命じ仰せられた。「善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

（創世記2：16-17）

創世記3章から神様が人間を創造された目的である人間耕作が始まります。今日は創世記2章について、神が人間耕作を始められた背景を学びます。

#### 善悪の知識の木

全知全能である神様は、アダムが善悪の知識の実を食べることを知っておられました。善悪の知識の木をエデンの園に置かれました。

#### 自由意志

神はアダムに万物を支配する権威と自由意志を与えられました。

#### 相対性

アダムはエデンの園で相対性を体験したことがなかったので、まことの幸せを感じることはできませんでした。

#### 人間耕作

不従順の罪を犯し、エデンの園を追放されたアダムとエバは、地上で多くの苦しみ、悲しみを体験し、まことの幸せとはなにかを悟り、父なる神に心から感謝する者となりました。



罪を犯したアダムとエバはこの地上で空腹や寒さや痛みを覚え、どれほどエデンの園にいたことを懐かしみ、また神の愛を忍んで悔い改めの涙を流したことでしょう。

全知全能なる神様は、すべてをご存じである中で、私たちに自由意志を与えられました。私たちは神の御心を慕い求めて心を耕していく者になることができますように。

さて、神である主が造られたあらゆる野の獣のうちで、蛇が一番狡猾であった。蛇は女に言った。「あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか。」

(創世記 3 : 1)

創世記 3 章にはアダムとエバが罪を犯すまでの過程と罪を犯した結果が書いてあります。そして、この時から人類に肉に属する魂の活動がはじまりました。今日は 3 章の概略を学んでいきます。

- 1 ~6 節 アダムとエバが善悪の知識の木から取って食べる過程
- 7 ~13 節 神の確認
- 14~21 節 神のさばきと愛
- 22~24 節 アダムとエバがエデンの園より地球に追い出される

#### アダムとエバ

罪を犯す前のアダムとエバは心に罪の性質が全く無く真理（霊の知識）で満たされていました。彼らは神様と親しく交わることができました。

アダムとエバは光で取り囲まれるエデンの園で生きていたのに、どのようにしてサタンに惑わされたのでしょうか？

創世記 3 章を通して、何故、全知全能である神様がアダムとエバが罪を犯すことをご存じでありながら、あえてそれを許されたのか。人間耕作を通してまことの子どもを得ることを願われた神様の愛のころを学んでいきます。



私たちは神様との信頼関係が結ばれ、神様のみ言葉をしっかりと守り行っているでしょうか。この世のものに目を奪われて一瞬にしてサタンの罠に陥っていないでしょうか。いつも目を覚まして自分の心を守り、人間耕作をしてくださる神様に感謝を持って幸せな日々を送ることができるよう主よ、お助け下さい。